



めざす学校像

南原小学校だより

地域の中の みんなが安心して学び 幸せを創る学校



令和7年度卒業式を挙行し、56名の卒業生が巣立ちました！ 3月13日(金)

式辞
本校の校庭から見える日光連山から、そして学校や地域の草花や木々の芽、風の薫りから、日一日と春の訪れを感じる季節となってきたこの良き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様をお迎えし、日光市立南原小学校 令和7年度卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生、教職員にとりまして大きな喜びであります。

56名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の保護者の皆様、卒業証書を手にしたお子様の晴れ姿をご覧いただいたことと存じます。誠にありがとうございます。職員一同、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

また、これまで本校の教育活動に対して、ご理解ご支援をいただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

思い起こすと、みなさんが1年生だった令和2年には、緊急事態宣言の発出により学校は休校になるなど日常生活や学校生活に様々な制限が課されました。休校明けには、学習用端末、オンライン授業の導入がされました。そして令和5年5月に感染症法上の位置づけが五類に移行し、未だ予防は続きますが、現在は日常生活が戻ってきています。みなさんが過ごした6年間はめまぐるしい変化のあった小学校生活だったと思います。誰も明日のことさえわからない中、みなさんは、しっかりと自己を見つめ、自主性と協働を大切に、仲間とともに成長してきました。

南原小学校は次年度創立40周年迎える地域の中の学校です。56名のみなさんは、本校の歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させた下級生が憧れる先輩でした。

『三つの「つなぐ」を意識して 友達と共にながめる6年生』を学年のスローガンに掲げ、「学年のつながりを大切にする」「下級生へつなぐことを意識する」「中学校へのつながりを考える」ことを実現するために、みんなで挑戦し支え合って楽しく学んできました。その成果は、様々な集会活動、運動会、持久走記録会、修学旅行などの学校行事だけでなく、日常生活の至る所に現われていました。

「人生とは、アルファベットのBとDの間のCである」といった人がいます。みなさんは、意味がわかりますか？ これはどれも英語の単語の頭文字を表しています。「B」とは、「Birth」「誕生」です。つまり「生まれる」という意味です。「D」とは、「Death」「死」です。つまり「亡くなる」という意味です。言い換えると、「人生は生まれてから、亡くなるまでの間のCである」という意味になります。では、「C」の意味はなんですか？ 考えてみてください。

例えば、「挑戦」「Challenge」や「変化」「Change」や「機会」「Chance」などが浮かびましたか？ これはどれも間違いではありません。すべて正解です。この問いには正解はひとつではありません。しかし、私がみなさんに伝えたい正解は、「選択」「Choice」もしくは「Choose」の「C」です。

つまり、いつ、どんな選択をするのかが、私たちの人生を決定していきます。「人生は選択の連続」です。そして、「選択するとき大事なことは「自分が決める」ことです。友達が言ったからとか、先生が言ったから・・・とか、親が言ったから・・・という人は、うまくいかなかったときに人のせいになります。だから、自分が決めて、自分が責任を持つことです。さらに「自分が決める時に大事なことは「三つの力です！」「自分も人も大切にする力」「自分で考えて、自分から動く力」「失敗を恐れず、チャレンジする力」です。

これからの時代は変化の読めない時代です。十年先がどうなっているのか誰も予想ができません。答えがひとつでない時代に必要な力は、自分で答えを導き出す力です。誰かが答えを出すのを待つのではなく、自分で考え、自分が決めることです。

校歌の一番にある「ひとりて芽を出し 花を持つ」かたくりのように、これからも「三つの力」を大切にして、鍛えながら、自分の人生を自分から自分らしく選択し続け、悔いのない中学校生活、人生を送ってください。

そして心と体をリチャージしたい時は、いつでも「南原」に戻ってきて欲しいと思います。南原小は、男体山と肩を並べながら、いつでもみなさんを待っています。

結びに、これからも56名一人一人が、さらなる自律の道を進み、挑戦しながら、自分の人生の物語をつくっていくことを祈念いたしまして、式辞といたします。

令和8年3月13日

日光市立南原小学校長 瀬楽 治弘



11月13日(木)の本校のリスタートから、児童は大きく変容、成長してきました。卒業式の前日準備では4、5年生児童の働きに感動しました。また、卒業式での在校生からのメッセージも心温まるものでした。みんなで作り上げたよい卒業式となりました。

3月10(火)には、4～6年生の代表委員が集まり、1年生から6年生までが考えた来年度の「目指す児童像」をまとめました。各学級の意見に11月から取り組んできた成果、児童の実感が感じられました。

令和8年度の「児童が考えた児童による児童のための目指す児童像」は、「**自分から進んで行動し、みんなを大切にする子**」です！

南原小HPからも
本校の教育活動や
児童の様子を
ご覧になれます



1. 自 立
2. 協 働
3. 創 造

